

新規事業採択時評価結果（平成28年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
 担当課長名：川崎 茂信

事業の概要

事業名	一般国道5号（北海道横断自動車道） 倶知安余市道路（倶知安～共和）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道虻田郡倶知安町字旭 至：北海道岩内郡共和町国富	延長	11.5km		
事業概要	倶知安余市道路（倶知安～共和）は、北海道横断自動車道の一部を構成する道路で、虻田郡倶知安町字旭から岩内郡共和町国富に至る延長11.5kmの自動車専用道路である。（北海道横断自動車道は、寿都郡黒松内町から根室市、網走市へ至る延長約694kmの高規格幹線道路であり、これまでに延長337kmが開通している。）				
事業の目的、必要性	当該区間の整備により、新千歳空港から国際的観光リゾートニセコへの速達性を確保し、宿泊施設新設等の民間投資増加により地域経済の発展に寄与、災害時の代替路確保や国際コンテナの通行支障箇所を解消し、物流を効率化、高次医療施設へのアクセス向上により、救急搬送など医療活動を支援するものである。				
全体事業費	約420億円	計画交通量	約6,600台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見
 【北海道知事】
 新規採択時評価に係る「一般国道5号（北海道横断自動車道）倶知安余市道路（倶知安～共和）」の予算化に同意いたします。
 当該地域では、北海道としても防災対策や地域の観光振興などのため、道道泊共和線や道道岩内洞爺線などの整備を進めており、国においても早期完成に向け、特段のご配慮をお願いいたします。
 また、平成23年度の計画段階評価に係る知事意見に基づき、別線で整備する区間とされた「倶知安～余市間」のうち、今回新規事業採択対象とならなかった「ニセコ・倶知安境界～倶知安間」について早期に着手されるよう、特段のご配慮をお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見
 ・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件
 ・費用対便益：便益が費用を上回っている。
 ・手続きの完了：計画段階評価手続き完了（H24.1.30）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.3 (1.3)	総費用：2,805億円 （事業費：2,506億円 維持管理費：299億円）	総便益：3,611億円 （走行時間短縮便益：3,050億円 走行経費減少便益：419億円 交通事故減少便益：142億円）	基準年 平成27年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.1（交通量 -10%）	B/C=1.4（交通量 +10%）	
		事業費変動	B/C=1.2（事業費 +10%）	B/C=1.4（事業費 -10%）	
		事業期間変動	B/C=1.1（事業期間 +20%）	B/C=1.3（事業期間 -20%）	
事業の影響	者への影響	自動車や歩行	渋滞対策	-	注目すべき影響はない。
		事故対策	-	注目すべき影響はない。	
		歩行空間	-	注目すべき影響はない。	
	社会全体への影響	住民生活	◎	【安心して暮らせる地域の形成】 ・倶知安から小樽・札幌の高次医療施設への搬送時間短縮や安静搬送により、患者への負担を軽減 ・脳疾患、心疾患の死亡率低下が期待 [倶知安～小樽市立病院の所要時間] 現況約68分 → 整備後約53分（約15分短縮） [小樽市の高次医療施設からの60分カバー圏人口] 現況164,200人(70%) → 整備後203,900人(87%)	
		地域経済	◎	【国際的観光リゾートの更なる発展】 ・インバウンド観光の拠点である新千歳空港や札幌市・小樽市周辺からニセコへの移動時間短縮、定時性を確保。 ・ニセコ地域への更なる観光客増加、通勤圏拡大による雇用の促進が期待。 [新千歳空港～ニセコ間の冬期所要時間] [小樽～ニセコ間の冬期所要時間] 現況約155分→整備後約120分（約35分短縮） 現況約80分→整備後約55分（約25分短縮）	
		災害	◎	・大規模災害時の代替機能の確保	
環境	-	注目すべき影響はない。			
地域社会	◎	【物流ルートの代替性の確保】 ・国際コンテナ通行支障区間の解消により、函館方面と札幌・後志地方を結ぶリダンダンシーの向上に寄与。 [国際コンテナ通行支障箇所の回避] 現況4箇所 → 整備後0箇所			
事業実施環境	○	・計画段階評価手続き完了（H24.1.30） ・北海道知事や小樽市長、倶知安町長ら沿線自治体首長より倶知安余市道路（倶知安～共和）の早期事業化を要望			

採択の理由

費用便益比が1.3と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
 また、当該区間の整備により国際的観光リゾートの更なる発展や地域経済への効果、大規模災害時の代替機能の確保、地域の医療活動の支援が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※B/Cの上段は、黒松内JCT～小樽JCT（仮称）を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果。

新規事業採択時評価結果（平成 28 年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性 倶知安市街地における交通混雑の緩和及び交通事故低減による安全性の向上、拠点空港新千歳空港から国際的観光地ニセコへの速達性の向上により、観光振興による地域の活性化支援及び有珠山噴火等の災害時の代替路として寄与するものである。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> 後志地域や隣接する胆振地域には周期的に噴火を繰り返す有珠山（約 30 年周期）等が存在している。 国道 5 号は、災害発生時の代替路としての役割があるが、国際コンテナ通行支障箇所を抱えており、特に物流等への影響が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ※新たな北海道総合開発計画 (H20. 7) ・噴火等により機能が損なわれた場合、経済社会への影響が極めて大きい中核的交通基盤等の保全を推進するとともに、代替機能確保のための対策を推進する。 ・港湾・空港や道内各地の物流拠点・生産拠点と高規格幹線道路とのアクセスを強化するほか、国際標準コンテナ車が支障無く通行できる幹線道路ネットワークを構築する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> 脳疾患や心疾患の死亡率が高く、第 2 次医療施設のある小樽までの救急搬送は、市街地や峠を通過するため、1 時間以上かかる地域が多く、救急搬送患者への負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ※新たな北海道総合開発計画 (H20. 7) ・集約拠点へつながる公共交通ネットワークや、道路ネットワークの強化などを推進する。 ※新・北海道総合計画(道央広域連携地域) (H20. 3) ・第二次保健医療福祉圏における地域センター病院などを中心に地域の医療機関が連携した安全・安心な医療の確保
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> パウダースノーで人気のスキー場等により、ニセコエリアの外国人宿泊客数は年々増加傾向。 ・冬期は移動時間のバラツキが多く、余裕時間を見込む必要があり、観光面の課題や、小樽方面からニセコへの通勤負担が大きく雇用低下の要因となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ※新たな北海道総合開発計画 (H20. 7) ・外国人や高齢者等が容易かつ円滑に旅行できるような観光地づくりを進めることが必要。 ・観光産業の従事者、多様な主体が参画する観光地づくりをマネジメントする人材等の確保・育成と能力の向上を促進する。 ※新・北海道総合計画(道央広域連携地域) (H20. 3) ・国内外を結び本道経済の発展を支える交通基盤の充実
その他		

事業の有効性 ・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価は D ランク→C ランク（D ランク→C ランク）に改善するとともに、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。 ・また、本事業において、有珠山等の火山災害時における代替性の高い輸送ルートを確認し、道央から道南を結ぶ広域物流を支援するとともに、高次医療施設への救急搬送時間短縮による地域医療サービスの向上への貢献、国際観光リゾートニセコへのアクセス向上による観光振興への貢献など、有効性の高い事業と評価する。									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度の変 化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	倶知安町	共和町	16 (11)	1.00 [D] (1.00) [D]	0.58 [C] (0.57) [C]	▲239.58 (▲82.66)	0.18 (0.12)	0.44 (0.45)	◎

事業の効率性 ・計画段階評価手続き完了（H24.1.30）

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は黒松内 JCT～小樽 JCT（仮称）を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。